

後期・講座内容と講師紹介

佐伯市の取り組み「さいき7つの創生」

自然・生活環境、生活基盤、保健医療福祉、教育文化、産業振興、まちづくり、地域活性化
これらにかかる分野を取り入れた講座です。

※講座内容は後日ネット配信します。詳細はFacebook公式ページにて。

5月の講師

葉谷 浩介



講師：葉谷 浩介

1964年山口県生まれ。地域エコノミスト、株式会社日本総合研究所 主席研究員。平成大合併前の約3200の市町村すべて、海外115カ国を私費で訪問。地域特性を多面的に把握し、地域振興や人口問題に関して「能力的」に研究・執筆・講演を行っている。著書に「デフレの正体」、「里山資本主義」、「観光立国の正体」(山田権一郎氏との共著)、などがある。

『進化する里山資本主義』

日時：2023年5月21日(日) 14時～16時
会場：さいき城山桜ホール 小ホール

講座内容：オーガニックシティの実現を目指す佐伯市にふさわしい地方創生のあり方を、全国各地の事例を紹介しながら、経済や資源、エネルギー、人口などの様々なデータの分析を軸に、進化する里山資本主義の発想から考えていく。

7つの創生 自然・生活環境、生活基盤、保健医療福祉、
教育文化、産業振興、まちづくり、地域活性化

6月の講師

辻 誠一郎



東京大学名誉教授。専門は第四紀地球科学、環境史、植物文化史、歴史景観生態学。花粉分析を手法として最終間氷期以降の植生変遷史、景観生態系史を研究。また歴史民俗資料と遺跡出土植物遺体から植物文化史を研究。最近では哲学の分野で地球生命史観、縄文史観を論じる。2021年7月27日に世界文化遺産登録された「北海道・北東北の縄文遺跡群」の登録推進専門委員会ほか各地の遺跡発掘調査委員会・史跡整備委員会の委員を務める。

縄文人から学ぶ、自然と文化が融合する地域づくり

日時：2023年6月18日(日) 15時～17時
会場：佐伯東地区公民館 集會室

講座内容：縄文人は流域生態系と内湾生態系を中心に地域性に富んだ生活域すなわち人為生態系を形成。機度なく起こる巨大災害を乗り越えてそれぞれの地域性はゆるやかに変容しつつも、土地・人・食料を奪い合う戦争は起こりませんでした。それぞれの地域性は相互的かつ相補的だったからです。

7つの創生 自然・生活環境、生活基盤、保健医療福祉、
教育文化、産業振興、まちづくり、地域活性化

8月の講師

島谷 幸宏



国土交通省九州地方整備局武雄河川事務所長、九州大学大学院教授を経て、熊本県立大学特別教授、大正大学特任教授。専門の河川工学を軸に、流域治水の技術確立を進めつつ、流域治水の導入過程で環境保全、グリーンインフラ、多自然川づくり、マイクロ小水力、IoT等と掛け合い持続的な社会を形成する手法について研究を実施。2021年よりJSTO拠点形成プロジェクトである「流域治水を核とした復興を起点とする河川社会、地域共創拠点のリーダー、著書に水辺空間の魅力と創造、河川風景デザイン、2017年九州北部豪雨集落会議の記録などがある。

持続的な社会構築のための流域治水の展開

日時：2023年8月27日(日) 15時～17時
会場：佐伯東地区公民館 集會室

講座内容：温暖化に伴う豪雨災害のリスクが高まる中で、新たな治水方式である流域治水とはどのような治水なのか？また流域治水対策を実施するときに、環境保全、小水力発電、産業創成などをどのように掛け合わせ持続的な社会構築を目指すことができるのかについて講演します。

7つの創生 自然・生活環境、生活基盤、保健医療福祉、
教育文化、産業振興、まちづくり、地域活性化

9月の講師

アレックス・カー



credit: Peter Duong

1952年、米国メリーランド州生まれ。東洋文化研究者、著述家。1964～1966年、父の仕事の関係で横浜に住む。エール大学日本学部と英国オックスフォード大学中国学部から学士・修士号を取得。1973年に鹿島集落舎(いや)に購入した茅葺き長屋「ちいさり」から始まって、日本各地で数十件の古民家を修復してきた。景観コンサルタントを行い、滞在型観光の促進に寄与。著書に「笑し日本の残像」、「犬と鬼」、「ニッポン景観論」など。

景観の昔と今から未来を考える

日時：2023年9月17日(日) 14時～16時
会場：さいき城山桜ホール 小ホール

講座内容：日本の地方は過疎化や少子高齢化で空き家が増え、大きな景観の変化が起きている。しかし、景観破壊の根源は戦後の高度成長期から続く土木工事であり、それを見過ごしてきた日本の「文化の病」を指摘しつつ、そうした現状をどう乗り越えて、魅力的な地方の景観を再生し、次世代へつなげていけるのかを様々な事例から考える。

7つの創生 自然・生活環境、生活基盤、保健医療福祉、
教育文化、産業振興、まちづくり、地域活性化

10月の講師

古川 保



1947年佐賀県生まれの建築士。熊本大学工学部卒業後、1992年にすまい塾古川設計室(有)を設立し、翌年「川尻六工度」を創設。日本建築士会連合会まちづくり大賞、九州建築士会住宅コンペ最優秀賞、真の日本の住まい住宅コンペで林野庁長官賞。2014年朝日放送の「大改造!! 劇的ビフォーアフター」で全国の匠が選ぶビフォーアフター大賞など、多数の受賞歴がある。2015～2017年に佐伯市の遊志庵の古民家再生の設計を担当。

木材を使うだけでは、日本の山は守れない

日時：2023年10月15日(日) 15時～17時
会場：佐伯東地区公民館 集會室

講座内容：日本は森林大国である。なのに日本建築の7割は外材を使って家を建てる不思議な国だ。日本の家は、山と共存してきた。今は、世界中の資材・燃料を求めて、飛びまわる。合理的でも、有限なもの行き詰まる。土と木と竹と藁を建築資源と考えれば、日本は資源大国だ。山と人と食について、地方から考える。

7つの創生 自然・生活環境、生活基盤、保健医療福祉、
教育文化、産業振興、まちづくり、地域活性化

12月の講師

辻 信一



1952年生まれ。文化人類学者、明治学院大学名誉教授。環境＝文化NGO「マクモノ倶楽部」代表、米国コーネル大学で文化人類学博士号を取得後、明治学院大学国際学部で「文化とエコロジー」などの講座を担当。「スローライフ」、「ハチドリのみとしく」、「キャンディナイト」、「しあわせの経済」などの社会ムーブメントの先頭立つ。「スロー＝イズ＝ビューティフル」「常世の舟を漕ぎて 熟成版」など著書多数。

総合講座の講師

杉浦 嘉雄



1953年、岐阜県大垣市生まれ。専門分野は鳥類保護・環境教育、日本文壇大学名誉教授。生物多様性をテーマにした持続可能な地域づくり、生涯教育、自然体験活動など継続的に実施。環境教育や自然体験が子どもへの道徳教育や自然観に与える影響に関する研究、「自然のインテグリティ(道徳)」という視点から考察する宮沢賢治の作品研究など行う。日本生態系協会、日本鳥類保護連盟、日本森林保全学会、宮沢賢治学会など所属。祖母・大瀬ユネ子エコパーク推進協議会会長。

アンスタント 岩佐 礼子

あまべ文化研究所代表。地域づくりに携わる。

グループ研究プロジェクト会議、グループワーク (5回連続)

日時：2024年4月21日(日)、5月19日(日)
6月16日(日)、7月21日(日)
8月25日(日) 全て15時～17時
会場：佐伯東地区公民館 集會室

講座内容：3月に決定した「グループ研究プロジェクト」の実行計画に沿って、4月から8月まで月一回のペースで各グループが会議を開き、研究の進捗状況を確認し、必要に応じてグループワークを実施します。8月は9月の最終発表会の予行練習をグループ全部で実施し、発表内容を共に興味しながら完成を目指します。

新スロー・イズ・ビューティフル

日時：2023年12月3日(日) 15時～17時
会場：佐伯東地区公民館 集會室

講座内容：「スロー＝イズ＝ビューティフル」から20年、世界を取り巻く絶望の嵐は深まっている。希望はあるのか？ぼくの答えはイエスだ。そのヒントは、例えば、大分が生んだ偉大な思想家、三浦梅園(1723～1789)のこんな言葉にある。「枯れた木に花が咲くにおどるより、生きている木に花が咲くにおどるべきなさい。」ああ、みんなで「新スロー＝イズ＝ビューティフル」を創って、希望の光を灯そう。

7つの創生 自然・生活環境、生活基盤、保健医療福祉、
教育文化、産業振興、まちづくり、地域活性化

グループ研究プロジェクト企画のためのワークショップ (3回連続)

日時：2024年1月21日(日)、2月18日(日)
3月17日(日) 全て15時～17時
会場：佐伯東地区公民館 集會室

講座内容：前期・後期を通して佐伯市民大学講座で学習したことをベースに、受講生による「グループ研究プロジェクト」の企画作成をサポートするためのワークショップです。個々のやりたいテーマを見極めた後、関連するテーマのグループを形成し、最終的にグループ研究プロジェクトの企画と実施計画を作成するまで手伝います。考え方や働き方の多様性を尊重しつつ、各自が実行可能な役割を受け入れ、一つの目標に向かって協力する力をつけます。

7つの創生 総合

学びの成果を
実現させるチャンス!

佐伯市民大学講座グループ研究プロジェクト発表会

日時：2024年9月15日(日) 14時～16時
会場：さいき城山桜ホール 小ホール(予定)

内容：4月から8月までに実施した「グループ研究プロジェクト」の最終的な結果を発表し、佐伯市民大学講座の学びの成果を、佐伯市の関係部署、研究に協力していただいた市民の方々などを招待して評価していただく機会となります。この発表会で3年間にわたって実施された佐伯市民大学講座は終了しますが、最終回でグループ研究プロジェクトの実現可能性を見極め、今後の地域づくりへの一歩を踏み出すきっかけとなるかもしれません。